

「私の知りたいこと」探し。

あなたはどのタイプ？

「知りたいこと」探しは、自分探し。

ワクワクをたどっていくと、

自分の知らない自分に

出会うかも。

START

毎月ファッション
雑誌を買う

← YES
← NO

恋愛話が
好き

一人暮らし
がよい



文学
といえば
和歌

お笑いは
関西

休日は
家に
いたい

理屈っぽい
とよく
言われる

自分でも短歌・
俳句などを
作る

源氏物語の
女性を3人以上
あげられる

ジブリ作品
といえば
『もののけ姫』

勉強するなら
カフェ

マンガを
150冊以上
持っている

楽器がひける

江ノ電の駅を
4つ以上
言える

家に国語・
古語辞典が
計4冊以上ある

旅行は京都

お菓子と
いえば
マカロン

ケーキより
和菓子

スポーツが
好き

松田ゼミタイプ
12頁へ

竹内ゼミタイプ
14頁へ

谷ゼミタイプ
16頁へ

どこに行っても
大丈夫！
8頁へ

佐藤ゼミタイプ
18頁へ

島村ゼミタイプ
20頁へ

田中ゼミタイプ
22頁へ

勝田ゼミタイプ
10頁へ

文学って 役に立つの？

「文学」（詩や物語や小説）は社会に出て仕事をする際には役に立たないと思いますか？ だとしたらなぜ？

それが「つくりもの」だからでしょうか？ たしかに物語や小説は英語で「Fiction（作り物・虚構）」と訳されます。でも例えば、学校の先生に對する時と親しい友だちに對する時では、関係のあり方が違いますし、誰でも話し方や心の動きが変わります。現実社会での会話や人間関係は、そもそもお互いの立場や役割などに応じて変化しています。文学はさまざまな場面で人間がどのように振る舞い、考え、感じるか、高度なシミュレー

ションをおこないます。文学に描かれている世界の設定はつくりものであっても、それは、人間の姿を映した鏡のようなものです。

どんな背景を持つ人が、このひと言を言ったのか。なぜこの二人の関係が壊れなければならなかったのか。「文学を学ぶ」ことは、そこに描かれている人間の関係性を読み解くことです。

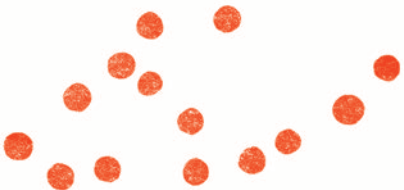
文学は、社会でばっちり役に立つ、正々堂々たる「実学」なのです。

ここという「文学」とは、必ずしも「文字で書かれたもの」「文字化されたもの」に限りません。詩や物語や小説だけでなく、地図・絵画・映画・映像・マンガなど、何についても読み解くことで、見えていない奥深い世界を知ることができます。そして、文学でも現実の世界でも、場の雰囲気・状況・人のしぐさや表情・顔

色など、読み解くにあたってヒントとなる「テキスト」がつながり合っています。読み解き、考え、理解する経験を積み重ねる中で、必要な情報を選び出し、他の情報や知識と関連づける力を「リサーチ・スキル」といいます。

また、自分の頭で考えながら読むことで、私たちは「自分のことば」を獲得していきます。いわゆる「表現する力」だけではありません。相手がすでにどういう知識を持っていて、何に関心があるのかを踏まえて、自分の伝えたい内容をうまく相手に伝えるための能力が「コミュニケーション・スキル」です。ちょっとしたひと言や何げないしぐさをもとに人間関係やその場の前後関係（コンテキスト）を理解していなければならないことです。

また自分のことばを発信することで、必然的にまわりの人々との関わりが生ま



れます。自分の発信がさまざまな反応（共感・反論・思わぬ指摘による発見など）を呼び、他の人々とともに考え、ともに行動することにつながります。これが「プレゼンテーション・スキル」です。

こうした高度な表現力が、文学を学ぶことによって培われてゆきます。リサーチ・スキル、コミュニケーション・スキル、プレゼンテーション・スキルを身につけ、「読むことのプロ」「読み解きのプロ」「表現することのプロ」をめざす。それがフェリス学院大学文学部日本語日本文学科で学ぶことなのです。

大学で学ぶ「文学」は、社会で自分を高め、その能力を最大限活かすことのできる、最も基本的な「実学」です。さまざまな文学作品と、それにまつわる社会的・歴史的現象を素材として、実践的能力を養いましょう！

いま、
和モノが
熱い！

福を 求めて

食事のあとは甘いものが嬉しい。コンビニに入るとつい手を伸ばしてしまうのはケーキにシュークリーム。でもカロリーも気になる……。そんなあなた！ いっそ低脂肪でヘルシーな和スイーツの御所「大福」をお昼ごはんにするのはいかが？

そもそもこの名前、江戸時代に「腹太餅^{はらふちもち}」だったものが、腹↓福、太↓大と字が替わり順番も入れ替わって「大福餅」になったと言われています。おなか一杯な感じから幸せ一杯な感じにシフトして、二〇〇年のベストセラー。満足感は折り紙つき。イチゴ大福、ティラミス大福など和魂洋才に寄り道しては、また原点アンコに還ってゆく……。福の追求に終わりはありません。

文様を 楽しむ

着物や食器、塗り物などに日本で古くから使われてきた文様^{もんよう}。パターン化された模様のことですが、その洗練された美しいデザイン性が「和モノ」ブームとともに注目されています。文様には意味や由来のあるものも少なくありません。例えば、大学の卒業式の着物でよく見かける「矢絛^{やせう}」。実はこれ、射た矢が戻ってこないことから「願いがかなう・成就」という意味を持つそうです。また「麻の葉」模様が生子^{なまこ}の着物に使われるのは、麻が魔除けになるという言い伝えや麻の木のすくすく伸びる様子によるもの。「花ことば」と同じように、文様のことばにそっと耳を傾けるのが大人のオシャレ。

ハシと ハシで ハシ

日本の食卓に欠かせないお箸。ハシというと、現代日本語には箸・端・橋の三つがあって、標準語ではアクセントで区別しています。「ハシに触れた（箸）」、「ハシに触れた（端）」、「ハシに触れた（橋）」。「ハシ」に架けるのが橋なのかなあとか、棒の端っこを使うから箸なのかなあとか、つながりが古来いろいろ考えられてきました。でも結局のところ、よくわからないのです。鎌倉時代の語源書「名語記^{なごき}」には「箸は二本で使うので、フタスジ（二筋）が変化したものだ」と書かれています。この意味、わかりますか？ FUT AとSUDIの端っこを足してF+A+S+I（ハシ）。うーん、強引ですねえ。

落語を 見ると 出かける

日本の伝統演芸の一つ、落語。演芸としての成立は江戸時代ですが、人を笑わせる「はなし」の起源はそれはそれは古くて、古事記や日本書紀にすでにそれらしきものがあるようです。戦国時代には仏教のお坊さんたちが、高座に正座し、登場人物の声をつくったり、扇子と手ぬぐいで演技したりして説教し、落語の原型となりました。落語家さんの座る場所が「高座」で、「師匠のお世話をしたがらワザを学ぶ弟子」がいて、「前座」を務めるのは、そういうわけなんです。笑う門には福来たる。落語女子になって、世代や性別の異なる相手の間合いに飛び込んでみましょう。「笑い」は無敵。きっと仲良くなれます。

恋バナでひと息ついて

恋の邪魔者は許せない

『万葉集』

霜が行く道の長手を繰りたたね 焼き減ぼさむ
 天の火もがも——万葉集巻15より
 （あなたが遠く去っていく長い道のり、帯のように伸びているその道をたぐり寄せて、おってたたんで、焼き減ぼすような天の火があればいいのになあ）

さのをとりがみのをとめ なかよのやかもり
 狭野弟上娘子が夫の中臣宅守との別れに際して歌った一首。二人が結婚した途端に、天皇の命令で夫は流罪とされてしまいました。「天の火」の元となった漢語「天火」は、地上の為政者の行いに過誤がある時、それをたしなめるために天皇の意志がもたらす災のこと。夫の配流を決めた天皇の判断を過ちだと責めているようにも読めます。天皇権力が絶大だった時代でも、詩歌の中だけではこうした表現が許されたのですね。（松田浩）

掟破りの恋

紫式部『源氏物語』

平安時代、大臣や大納言など、身分の高い貴族の娘たちが、帝のキサキとして後宮に集まっていました。もし帝の子どもを授かれば、その子が将来の帝になるかもしれないから、帝は、後宮の女性たちを身分に応じて愛さなければなりません。それが後宮の掟なのでした。

しかし、源氏物語の主人公である光源氏の父帝はその掟を破り、あまり身分の高くない女性を愛してしまいました。湧き起こる激しい嫉妬。帝はそれを跳ね返すように愛情を募らせます。それによってますます周囲の嫉妬は強まっていきます。愛することによって愛するものを苦しめてしまうのに、愛さずにはいられない。源氏物語はそうしたひとつの愛の姿から語り始められるのでした。（竹内正彦）

すべては恋から始まる

日本の恋歌

日本の和歌は恋歌が多く、『百人一首』の百首中でも四三首が恋歌です。どうしてでしょうか。藤原定家の父俊成が次のような和歌を詠んでいます。

恋せずは人の心もなからまし
 物のあはれもこれよりぞ知る
 （恋をしなければ人の心などないに等しい。生きることの感動、あらゆる感情は、すべて恋によって知ることができるのだから）

日本の恋歌の本質は相手をいとおしむことに尽きます。美しい恋歌は、人を信じること、愛することを教えてくれます。俊成が言うように、恋という感情が住む空間は、異性への恋が去ったあとも、信頼や敬愛という心が次々と訪れてくれると思うのです。まずは、『百人一首』の恋歌を深く味わってみてはいかがでしょうか。（谷知子）

最後の幸福な時間

堀辰雄『風立ちぬ』

宮崎駿監督のアニメ『風立ちぬ』の原案の一部となった、同タイトルの堀辰雄の小説。飛行機作りとはまったく関係はなく、恋愛物語が主軸です。「私」は「彼女」のことを小説に書きたいといいます。

「ああ、それはおれの好きなように書くともさ。……が、今度の奴はお前にもたんと助力して貰わなければならぬのだよ。」

「私にも出来ることなの？」

「ああ、お前にはね、おれの仕事の間、頭から足の先まで幸福になっていて貰いたいんだ。そうではないと……」

肺結核で余命いくばくもない「彼女」には、なかなか無理な注文のようにも見えますが……。恋愛は近代文学の最大の要素の一つです。ともに学んでいきましょう。（島村輝）

自分自身で疑問にケリをつける！

勝田耕起先生の日本語学

学生 大和田真波さん

大和田 私が日本語に興味を持ったのは小学生の時です。国語のテストで「地面」のふりがなを「ぢめん」と書いたら×になりました。どうしてなのか、説明もなくわかりません。どうしてなのか、説明もなくわかりません。

勝田 それで一年次後期の基礎ゼミでは発音や仮名遣いの問題について発表したんです。『地面』の件は納得しました。

大和田 はい、「日本語の歴史A・B」を受講しましたから、いまなら理屈がわかります。子どもの頃の小さな疑問でしたが、調べてみるとまったく単純な話ではありませんでした。

Kouki Katsuta

勝田 そうですね。

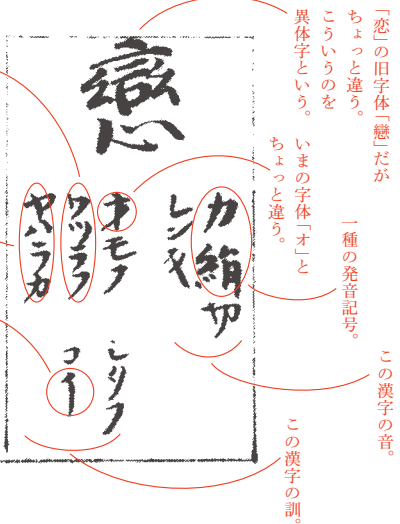
ちゃんと説明するには、日本語学のいくつかの分野の専門知識を総合する必要があります。それを小学生にどう教えるか……これは「国語教育」ですね。言語教育に関心を持って卒業論文を書いた先輩もいますよ。

大和田 卒業論文のテーマは毎年いろいろですね。日本語史をはじめ、現代の若者言葉や方言、書道（文字）に関する研究もありました。

勝田 日本語のことなら、何をテーマにしてもかまいません。大学は、自分が興味を



室町時代中期の漢和辞書



II「ワツラウ」
濁点が書かれていない。

一つだけ形容動詞。
恋している時の気持ちからの
連想なのかなあ？

歴史的仮名遣いでは
「レ」「エ」。ここの当時の発音が
そのまま反映されている。

詳しくは専門科目
「日本の漢字と国語辞書」で！

勝田耕起先生のオススメの一点

持ったことを自分で徹底的に調べ上げて明らかにし、学術的な論文にして「何だろう？」というもやもやとした気持ちにケリをつける場所です。

大和田 女子は恋愛ばなしが大好きですが、文学と違って日本語学では、恋愛そのものはテーマにできない……ですね？

勝田 そうですね、「文学の無粋な隣人」などとされるわれわれ日本語学は、「恋愛」という語そのものを調べましょうか。これは幕末に「love」の訳語として現れた言葉で、明治期の辞書には「恋ヒ慕ヒ、カハユガル」なんて書かれています。さらにさかのぼって室町時代の漢和辞典では「戀」と書いて「ヤハラカ」と読んだ例もあるようです。ちょっと無粋じゃなくなってきたかな。

深く掘り下げていける楽しさ！ 松田浩先生の古代文学

学生 小野彩香さん

小野 二年の春、先生がご担当の「万葉集を読む」という演習形式の授業を履修しました。

松田 「大学生は就職のことばかり考えていないで、苦しいくらい勉強に没頭しなさい」と言ったので驚いたでしょう？

小野 私自身、どこかで就職のことを視野に入れながら出版社でアルバイトをしていたので、ドキッとしました。

松田 学生が一首を担当し、質疑応答を含めて四五分間で発表してもらいましたね。たった一首についてですが、やってみると時間が足りないくらいだったのではありませんか？

Hiroshi Matsuda

小野 はい。歌を訳すだけでなく、使われていることば



の用例を調べて、当時のものの考え方や社会のあり方などの考察を加え、自分なりの意見をまとめようとすると、発表のポイントを絞らなければ時間内に収まりませんでした。

松田 その気になれば、どこまでも深く掘り下げていける。大学の学問とはそういうものです。そして、その中でしっかりとした調査能力と、それを的確にまとめあげる論理構成力を身につけることこそが大切な

のです。これは一生役に立つ力ですよ。

小野 三年前期のゼミでは、古事記の神話を題材に、主要な注釈書を何冊も読み比べて検証しました。さらには神話から読み取れる信仰のあり方や当時の世界観などを探ったりもしました。毎回、とても充実した内容でした。

松田 後期からは万葉集をやるので、夏休みには徹底的に読み込んでおきましょう。卒業論文の題材になる歌に巡り会う人もいます。

小野 私は、大伴家持おおとものかもちの歌が気になりました。

松田 家持の一首でも何時間でも語れるようになります。そしてそこそが大学の学びです。「もうこれでいい」などと思わず、貪欲に、おなか一杯になるまで勉強してください。

松田浩先生のオススの一首

万葉集 卷四・七四四 大伴家持

夕⑦さらば屋戸開け設けて我れ待たむ
夢④に相見あひまに来むといふ人を

これを和歌に応用。

奈良時代の貴族に好まれた恋愛小説『遊仙窟』（初唐・張文成）

「今宵英閑戸、夢裏向渠辺」

⑦（今宵、戸を閉ざすこと莫かれ、

④夢の裏に渠が辺に向かはむ）

夢で会いに行くという中国の俗信。

「夢魂」

＝ 寝ている間に自分の魂が抜け出す。

その魂が見たものが自分の夢。

日本の俗信。
相手の魂が
やって来て
自分の夢に現れる。

遊離魂の
「行く」「来る」が
日中で逆方向。

中国の小説を和歌に利用する際に、日本の夢の信仰に変換している！

汲めどもつきない魅力の泉！

学生 山田瑠璃子さん

竹内正彦先生の中古文学

竹内 山田さんが初めて私の授業を履修したのが一年後期の「日本古典文学史」でしたね。

山田 はい。とてもわかりやすく、楽しい授業でした。なかでも強く印象に残っているのが蛍の話です。蛍は夏の風物詩として人々に愛されていますが、文学の中ではどうとらえられていたかを、現代から上代にさかのぼりながら考えていく講義でした。

竹内 江戸時代には例えば芭蕉の蛍狩りの句があり、平安時代には『源氏物語』や『枕草子』にも描かれたように、日本人は古くから蛍の光に親しんできました。

Masahiko Takeuchi

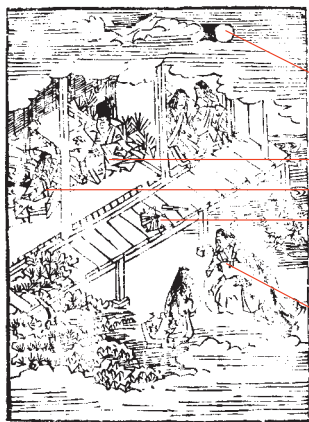
しかし、上代までさかのぼると、もともと蛍は、あしきもの、怖れの対象でした。その大きな変化をもたらしたものの一つが、大陸から渡ってきた漢籍の影響でした。

山田 一方で『火垂るの墓』のように、蛍火をはかない人の魂と重ね合わせるメンタルを、日本人は心に残しています。文学を通して人々の考え方や心の持ちようを学びたいと考えていた私にとって、先生の授業は毎回ワクワク、ドキドキの連続でした。



絵入り源氏物語「朝顔」巻

江戸時代には、「絵」入りの源氏物語が版木を使って印刷され、多くの人たちに読まれるようになりました。



(竹内蔵)

左の絵は、光源氏が紫の上とともに「雪まろばし」を見ている場面です。

冬の月。王朝文学では「すさまじきもの」とされる。

・光源氏

・紫の上

・童たちの扇。普段は顔を隠すために持っているが、雪遊びに夢中でほったらかしになっている。

・「雪まろばし」をする童女たち。雪を転がして丸い玉をつくる、王朝版「雪だるま」。

竹内 古典はむずかしいものだと感じている人も多いようですが、一歩踏み込めばそこには汲めども尽きない魅力の泉が湧いています。自分から近づいていくことで、物語の背景や登場人物の心理が見えてきます。自分から近づくというのは、自分なりの疑問を持つということですよ。ゼミではそれを重視しています。

山田 でも、一つの疑問を調べて解消することで新たな疑問や発見が生まれてくるので、なかなか結論にはたどりつけません。

竹内 それが奥深さであり、魅力です。疑問をとことん調べ、考え抜いていくことは、自分自身の視点や考え、自立した自分を培う大きな力になります。

竹内正彦先生のオススメの一点

恋歌が、ただの恋歌でなくなる時！

学生 高橋由華さん

高橋 私は崇徳院^{すくもくゐん}について卒業論文を書きたいと考えています。

谷 『百人一首』の歌人で、和歌の名手でしたが、保元の乱に敗れて讃岐国に流された天皇ですね。歴史上有名な人物でもありますから、おもしろいテーマだと思います。

高橋 怨念^{おんねん}で天狗に変身してしまったというあたりにも興味があります。

谷 そうですね。たくさんさんの伝説の持ち主で、都に戻れないことに絶望して、髪を伸ばし、爪も切らず、おどろおどろしい姿で、都を呪ったと言われています。そう考えると、『百人一首』七七番の歌も、ただの恋

Tomoko Tani

歌とは思えなくなってきましたよね。

高橋 なるほど。激流や別れの子感が、崇徳院の悲劇を予感しているということですね。

谷 もちろん、保元の乱以前に詠まれた歌ですから、そんなつもりで詠んだわけではないのでしょうけれども。

高橋 藤原定家は、そのあたりも計算済みで『百人一首』にこの歌を撰んだのでしょうか。そう考えると、古典文学って、歴史や宗教と深く関わっているんですね。



百人一首 七七番 崇徳院

瀬をはやみ

岩にせかるる滝川の

われても末に

逢はむとぞ思ふ

一、「われても」↓掛詞

恋心……いったんは別れても

風景……岩にあたって左右に分かれても

← 掛詞は、心と風景のペア💡

二、崇徳院の悲劇

父鳥羽院と不仲、保元の乱に敗れて、

讃岐国（香川県）に流され、

天狗に変身したという

伝説がある。



谷 崇徳院一人をとっても、和歌、歴史、宗教が相互に関わり合っているので、幅広く、豊かな知識と、それをまとめ、深めていく力が必要です。日本文学というより、「日本学」ということばがふさわしいかもしれません。

高橋 『百人一首』は最近マンガやアニメになったり、ドラマになったりしていますよね。

谷 業平^{なりひら}の奔放な生き方や、命がけの忍ぶ恋に共感したり、憧れたり……。古典のリメイクもまた大切なテーマですから、『百人一首』のマンガやアニメで卒論を書くのもおもしろいと思います。

谷知子先生のオススの一首

研究対象は人間そのもの！ 佐藤裕子先生の近現代文学

学生 昇 真子さん

昇 佐藤先生のゼミで扱うテーマは、「これが日本文学なの？」とびっくりするほど広いですね。ギャル文字まで入っていたりして……。

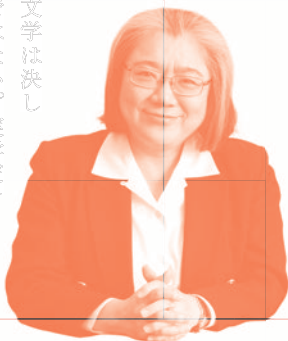
佐藤 夏目漱石は、『野分』という作品の中で「文学は人間が生きていることそのものだ」と語っています。文学の研究対象は人間なのです。ですから人間を取り巻く文化現象、社会現象を視野に入れなくてはなりません。そしてそれらを読み解く力をつけることが、大学での文学研究と考えてよいと思います。文学作品も映像も、そして人間のしぐさや表情も、読み解きの対象となる

Yuko Sato

る素材はすべて「テクスト」です。
昇 先生はよく「文学は決して趣味の学問などではない。実学だ」とおっしゃいます。

佐藤 ただ読むだけなら、それは消費にすぎませんが、ゼミでは主体的に作品を読み解くために情報を集め、分析し、さまざまな角度から考察して、プレゼンテーションする。これはどの世界でも求められるリテラシーでしょう。つまり最も基本的な実学ですよ。

昇 先生のゼミに参加するとそれがよくわ



かります。それにしても、テーマだけ見ると楽しそうですが、内容はとても厳しい……。

佐藤 ゼミでは三人が一つのグループを組んで、一人が発表者となります。一人が「マスター」として事前に発表者の小レポートを読んで、よいところや議論すべき点を見つけておき、当日は司会進行を務めます。もう一人は質問責任者で、当日は発表者に質問します。まじめにやったらかなりハードでしょうね。

昇 はい、それはもう（笑）。でもがんばった分だけ議論が深まるのがよくわかります。それに、誰もがみんなを驚かせたいと目論んでいるふしがありますね。だから、どんな視点からの意見が出てくるか、いつも楽しみです。

佐藤裕子先生のオススメの一冊

『虞美人草』 夏目漱石の新聞小説家デビュー作

★二人の男。一緒に山を登っている。

たいへんだなー

対照的

随分遠いね。元来どこから登るのだ」

と一人が手巾で額を拭きながら立ち留

まった。「何処か己にも判然せんがね。

何所から登ったって同じことだ。山は

あすこに見えて居るんだから。」と顔

も身体も四角に出来上がった男が無造

作に答えた。

★はたしてこのあと起きるべきことは、それぞれの印象と同じなのか？

④ 体育会系？
がっしりしていて
男性的？

対照的

⑦ 手の甲や着物ではない
几帳面で繊細？
女性的？

対照的

巧妙な言葉の奥深さという刺激！

島村輝先生の近現代文学

学生 大坂亜樹さん

大坂 島村先生は、ご専門の多喜二に限らず、広く近現代文学を扱っていらっしゃるんですね。

島村 樋口一葉をはじめとする明治以降の近代文学から、戦後の芥川賞受賞作品まで幅広く扱います。三人で一つのグループになり、一つの作品について二週にわたって発表してもらいます。

大坂 田山花袋の『少女病』を担当しました。

島村 中年男が通勤途中の市電で美少女に恋をして妄想し、最後は美少女に見とれて電車から転落し、レールを紅く染める作品

Teru Shimamura



ですね。この作品が発表された明治四〇年頃は、通勤に市電を使うのが一般的になっていました。一方で、女子教育が盛んになり、女学生という存在が生まれました。そうした時代背景には語れません。

大坂 作品の見方や感じ方がずいぶん変わり、新鮮な発見がたくさんありました。ただ、主人公の死についての解釈が十分でない指摘されましたね。テキストを読み込めば見つけ出すことができるものが見つかっていないと……。

島村 一言一句、一つずつ検討するくらい

志賀直哉『小僧の神様』

皆さんは、志賀直哉という小説家の『小僧の神様』という作品をご存じですか？ 読んだことがある、という人も、タイトルだけは知っている、という人もいますでしょう。この小説の書き出しは次のようになっています。

仙吉は神田のある秤屋はかりやの店に奉公こうこうしている。

（『小僧の神様』）

この話は、この仙吉という少年が、お小遣いが足りずに屋台で寿司を食べ損ねたのを目撃した若い「貴族院議員」が、秤屋で買い物をしたおりに偶然仙吉を見かけ、寿司をおごってあげるのだが、なぜか後悔にさいなまれるという筋立てを軸にしています。ところが、この作品は、そんなあらすじにまともてしまえない、興味深い仕組みに満ちているのです。

「仙吉」という名前の意味は？

「神田」とはどういうところ？

なぜ「秤屋」なのか？

「奉公」とはどういうことか？

こうした一つ一つの「言葉」を読み解いていくおもしろさを、一緒に味わっていきましょう！！

島村輝先生のオススの一冊

に読み込んでほしいです。三年のゼミで最も力を入れていることです。

大坂 たしかに、注意深く読んでいくと、なぜ作家がその言葉を使ったのか、使わなければならなかったのかがわかる時があります。言葉の奥深さをつくづく感じる瞬間です。

島村 文学は、言葉が巧妙に洗練されたものです。文学を読み解くことができれば、身のまわりのものを読み解くことができるようになります。あふれる情報の中から真実を見つけられる。

大坂 私も読み解く力を手に入れられるでしょうか？

島村 もちろんです！ 読解の訓練を重ねつつ、自分の研究テーマを見つけ出してください。

ゼミで学んで夢の実現を考える！

学生 藤本桂子さん

藤本 短期留学をしたときに外国人留学生に日本語を教えて、そのむずかしさに気づきました。

田中 それでゼミでも日本語教育学を選んだのですね。

藤本 私の住む地域には外国籍の方がたくさん生活しています。彼らが直面していることばの問題などを調査して、改善するための支援をしたいと思います。

田中 いま、日本には約二〇三万人もの外国籍の人々が生活しています。日本の人口の一・七％程度で、他の先進国と比べるとそう多いとは言えません。そうした外国籍

Rina Tanaka

住民の比率が、高いある団地では、その四五％が、「あぶない」という文字が読めない、意味がわからない状況にあると報告されています。とても深刻な状況です。藤本さんが興味をもったテーマはとても重要だと思うので、さらに具体化していきましょう。

藤本 私は特に外国人児童生徒への日本語の教育の問題に関心があります。

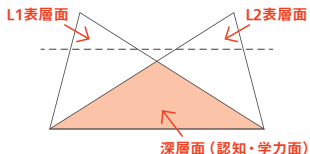
田中 そうですか。ぜひ積極的に関わってみてください。実際に現場に入って子どもたちを支援しながら、何を明らかにしたい



「別々」より「一緒」が大切!!

生まれた時から周囲の人々が話していて自然に覚えた「第一言語」と、あとから覚える「第二言語」。言葉が二つ以上話せるなんて、うらやましい限りですが、バイリンガルの頭の中はどのようなになっているのでしょうか。二つの言語が独立して別々に頭の中に存在しているという説もありますが、有力なのは、左図の説。表層面では二つの言語が個別に存在しているように見えて、深層面では知識や学力、思考力が共有されているという説です。

日本語力が伸び悩んでいる外国人児童生徒に対して、母語を使わずに日本語だけを学習するよう指導してしまう例がよくあります。しかし、そうすると、母語が話せなくなってしまう、アイデンティティの揺らぎや親子間でのコミュニケーションギャップなどの問題が生じてしまうことが指摘されています。母語教育と日本語教育は並行しておこない、二つの言語を駆使して学力を身につけて、外国人児童生徒が日本社会で自己実現できる環境をつくっていくことがますます必要とされています。



のかを探っていくとよいでしょう。その前に、どんなことが議論されているのかを確認しておく必要がありますね。

藤本 以前、日本語も自分の母語も、どちらも十分には身につけていない子どもたちについての本を少し読みました。

田中 不就学や進学・就労の問題とも関係する、とても重要な課題ですね。

藤本 でもどんなふうに調査したらよいのか、まだ全然イメージがわきません。

田中 まずは自分が何を明らかにしたいのか、問題意識をゼミで深めていきましょう。その後、どんな手法で明らかにできるか考えていきましょう。卒業論文を書いていく中で、日本語教育という観点から、多文化共生社会の構築に自分がどのように貢献していけるのかを考えてみましょう。

田中里奈先生のオススのポイント